

事務事業名		簡易水道送配水管等施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業		
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目		
	施策名	20 良好な生活空間の創造		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計	款	
	基本事業名	02 上水道・簡易水道の整備		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 14 年度～)		簡水事業	項	
根拠法令		水道法		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		目	事業	
所属	部課名	上下水道部簡易水道事業所		※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分		
	課長名	後藤 浩靖				A 政策事業	B 施設整備	
	係名	簡易水道係	電話			0192-27-3111	C 施設管理	D 補助金等
	担当者	橋本 邦彦	内線			172	E 一般(A~D以外)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 導送配水管の耐久性向上を図り、水道水の安定供給を図るため、水道管の布設替(更新)を行う。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		
					財源内訳	都道府県支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源		
						事業費計(A)	0	
				人件費	正規職員従事人数			
					延べ業務時間			
					人件費計(B)	0		
					トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
・配水管布設替工事 1件		ア	送配水管布設延長
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	消火栓設置
・配水管布設替に伴う詳細設計 2件		ウ	
・配水管布設替工事 1件		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称	
布設替が必要な導送配水管		単位	
		カ	切替が必要な送配水管
		キ	新規布設が必要な配水管
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
適切に維持管理、更新される		名称	
		単位	
		サ	無効水量
		シ	配給水管等の漏水修理件数
		ス	送配水管布設替延長
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
住みやすい生活環境になる。			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円				5,500	47,200	12,300
		その他	千円	462	1,179		8	17,299	1,251
		一般財源	千円						
	事業費計(A)		千円	462	1,179	0	5,508	64,499	13,551
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	0	1	2	2
		延べ業務時間	時間	40	112	0	100	200	200
		人件費計(B)	千円	160	448	0	400	800	800
		トータルコスト(A)+(B)		千円	622	1,627	0	5,908	65,299
⑤ 活動指標		ア	m	98,517	98,517	98,517	98,517	98,517	109,356
		イ	基	230	247		247	245	240
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	m	-	30	-	-	615.9	79.1
		キ	m	-	-	-	-	-	-
		ク							
⑦ 成果指標		サ	m³	245,094	262,534	309,217	258,207	261,628	290,136
		シ	件	26	27	20	30	17	11
		ス	m	0	30	0	0	616	79


事務事業ID	0711	事務事業名	簡易水道送配水管等施設整備事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	水道管の耐久性には限りがあるため、簡易水道事業にとって管路更新は必須的な事業である。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	道路嵩上げ等の復興関連工事に伴い、布設替えを要する場合、担当課との調整が必要になってきている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	過去に、越喜来字井戸洞と吉浜字増館の住民から、議会を通じて水道本管布設の要望が寄せられたことがある。既存管からの分岐距離が長く、住宅戸数も少ないため、布設できないことを回答している。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 簡易水道施設の整備は、安全な水を安定的に供給することにつながり、その結果、快適な都市環境の整備につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 上水道の整備は水道法で定められた地方公共団体の義務であり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 重要路線や老朽度合を勘案して、更新の優先度を決定している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 管路の耐久性向上を目的とした事業であり、効果の派生は期待できない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 事業を廃止・休止すれば、漏水の発生や地震時に断水が発生する可能性が上昇する。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 既設送配水管の布設替え及び新規の配水管布設は工法が限られるため、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限の人数で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 簡易水道使用者から給水負担金及び水道料金を徴収しており、負担は適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む)  ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
引き続き復興関連の情報収集に努め、関係部署と協力しながら事業を継続していく必要がある。																								

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	老朽化している耐震化が必要な送配水管の状況を把握し、事業費の確保を図りながら計画的に布設替えを実施していく。